

学校評価 公表シート2

1 本園の教育目標

建学の精神にのっとり「躰に重点を置き、心身ともに健全で情操豊かな子ども」をめざす。幼児一人ひとりが自信をもって、明るく楽しく落ち着いて生活し、生きる喜びをもてるような教育活動を行っている。

- ① 明るく、楽しく、友だち同士仲良くできるように計画し、指導する。
- ② 幼児の能力や性格などを伸ばすように、教育研究と実際指導の両面を進めていく。
- ③ ふだんから健康衛生に対する関心を高め、実践を通して習慣化していく。
- ④ 集団の中での規律、友愛、礼儀作法が身につくようにする。

2 本年度、重点的に取り組む目標・計画

より質の高い教育を提供し、園児たちの健全育成を達成するために、教育内容のさらなる充実・深化を図る。そのために職員研修のさらなる充実と工夫に努める。

3 評価項目の達成及び取組内容

評価項目	取組内容
1 保育者の保育力・指導力向上	園内研修の効果的な持ち方（方法、形態など）を考え実践する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員のみで構成するメンバーでの研修 ・ 日々の保育力や指導力向上に直結する内容の精選 ・ 「情報伝達形式」から「問題提起形式」「討論形式」に ・ ビデオ録画した保育の検証 ・ 音感教育外部講師による保育参観、研修 ・ 新幼稚園教育要領の学習会
2 人間力・女性力向上	幼稚園教諭としてのスキルアップはもとより、日本女性としての素養や嗜みを身に付け品格を上げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ (財) 幼児文化芸術協会主催の研修の参加 ・ 「美文字」の練習 ・ 課題図書の見直し ・ クラシックコンサート鑑賞会
3 よりよい職場環境に向けて	教職員の職場環境や労働条件・待遇改善を進める。(時短や事務量の軽減など) <ul style="list-style-type: none"> ・ バスコース時間の短縮→実質勤務時間の短縮 ・ 給与アップ ・ 雑費（給食費、バス代、預かり料金など）の自動引落し ・ 労務士や会計士からの指導助言

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

1 「保育者の保育力・指導力向上」
 本年度、MS（音感教育）では、7月に先進園である東京いずみ幼稚園より講師の派遣を依頼し、全クラスのMSの取り組みについて参観・指導してもらう機会を持った。ここ数年の本園での指導方法や進め方について、講師より一定の評価を得ることができた。さらにその取組をビデオ撮影した内容を他のクラスや学年の教員が見合ったことは、他学年の取組内容を理解したり、同学年でそろえる点を確認したりするなど、実践の振り返りをする上で効果的だった。

また、園内研修の持ち方も、テーマによって教員のみで構成するメンバーでの研修や一方的な「情報伝達形式」だけでなく、そこから発展した「問題提起形式・討論形式」での研修を進めた。12月の新幼稚園教育要領の学習会では、「主体的・対話的で深い学び」を日常の教育活動の場面にどのように落とし込んでいくか、取り組んでいくかを考えた。その結果、教員自身が受け身でなく「主体的」に考える姿勢が育ったものの、予定した研修回数を確保できなかった点が今後の課題である。

2 「人間力・女性力向上」

(財) 幼児文化芸術協会主催「夏季保育者研修会」に参加し、元NHKアナウンサー野田育子先生より「日本の美しい言葉と話し方」についてのお話を聞いた。手鏡を持って自分の表情を確認する実践では、「自分が他人からどのような表情で見られているか」や「笑顔の大切さ」さらには「美しい言葉と表情との関連性・関係性」などを学んだ。

また、年間通してテキストを用いて「美文字」の練習にも取り組んだ。美文字になるための偏と旁（つくり）の大きさやバランス、硬筆でも毛筆を意識した運筆の大切さに気付くことができ、美文字に対する関心意欲の高まりが見られた。

その他、秋には「クラシックコンサート鑑賞会」に教職員全員が参加し、芸術に触れる機会を設けた。こうした取組によって教職員自身、人間力・女性力向上に対する意識の高まりが見られた。

3 「よりよい職場環境に向けて」

本年度より時短や事務量の軽減に向けて「バスコース時間の短縮」を試みた。バス出発時間を8時にしたことで、実質勤務時間の短縮につながった。次に「雑費（給食費、バス代、預かり料金など）の自動引落し」に取り組み、これにより事務担当や各担任が携わる集金作業の大幅軽減に結びついた。さらに、給与のベースアップも教職員の意欲向上に結びついた。年末には、大規模な大掃除を行い、不要な物の「断捨離」と園内環境の美化に努めることができた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
1 保育者の指導力・保育力向上	園内研修の効果的な持ち方とその実践
2 「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた保育の研究	「主体的・対話的で深い学び」を日常の教育活動の中でどのように組み込んでいくかの研修
3 よりよい職場環境に向けて	すてきな幼稚園教諭としての「働き方改革」への取組

6 学校関係者の評価

- 年長の保育参観に参加し、午前中だけで盛りだくさんではあったが、子どもが集中できる時間配分で、よく考えられた内容だと感心した。
- 園の雰囲気が高く、運動会や発表会など行事のレベルがとても高い。
- 保護者アンケートで子どもの言葉遣いの評価が相対的に低い、「正しい」言葉遣いとはどのような言葉遣いなのかを具体的に示す必要があるのではないか。保護者からの聞き取りも必要である。他の評価項目も再検討するとよい。
- 子どもが「なかよし交流デー」が楽しかったと言っていたので、異年齢の活動時間がもっと増えると良い。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。